

2022 年 8 月 12 日

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会千船病院麻酔科で、硬膜外無痛分娩から帝王切開術へ移行した患者さんへ

社会医療法人愛仁会千船病院麻酔科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

硬膜外無痛分娩から帝王切開術へ移行した際に硬膜外麻酔で手術麻酔管理が可能と判断した因子についての後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会千船病院麻酔科 部長 魚川 礼子

3. 研究の目的

硬膜外麻酔による無痛分娩の患者さんが帝王切開術へ移行する場合、麻酔科医は適切な麻酔管理方法を判断することが大切です。無痛分娩ですでに挿入されている硬膜外カテーテルへ薬を追加投与すると、硬膜外麻酔のみで手術を受けていただくことが可能です。この方法は無痛分娩の利点として一般的に紹介されています。しかし、その硬膜外麻酔の効果が不十分であることが判明した場合、他の麻酔方法を用いる必要があり、難度が高くなります。無痛分娩の管理方法は施設ごとに様々であり、硬膜外麻酔のみで手術を受けていただけるかどうかの決定的な因子は分かっていません。そこで、今回の研究は、これまで当院で硬膜外無痛分娩から帝王切開術へ移行した際に硬膜外麻酔で手術麻酔管理が可能と判断した因子について明らかにすることを目的としています。この研究で得られたデータによって、より安全かつ快適な麻酔をご提供できる可能性があります。またご家族への正確な情報提供や適切な治療方針の決定にも役立つ可能性があります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

硬膜外無痛分娩の患者さんで、西暦 2019 年 10 月 1 日から西暦 2022 年 3 月 31 日までの期間中に、帝王切開術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの身体情報、分娩週数、無痛分娩の経過、帝王切開術の経過などに関する情報です。

(3) 方法

当院で電子カルテより情報を収集し、解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

なし

8. 問い合わせ先

〒555-0034 大阪府大阪市西淀川区福町 3 丁目 2 番 39 号

社会医療法人愛仁会千船病院麻酔科 担当医師 魚川 礼子

TEL : 06-6471-9541 FAX : 06-6474-0069

E-mail : uokawa.reiko@aijinkai-group.com